



# 都路

未来を創る  
人間性豊かな 都路っ子の育成

令和2年5月28日 発行責任者 校長 安瀬 一正

## 通常授業再開へ

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休業としていましたが、国、福島県の緊急事態宣言解除を受けて、分散登校を行うなど段階的に教育活動再開に向けた準備をまいりました。田村市教育委員会では、6月1日(月)より、通常授業・給食を再開することと決定しました。

しかし、感染の恐れ・リスクはまだ続きます。本県は“感染レベル1”と判断され、引き続き感染状況をモニタリングしながら、「新しい生活様式」を徹底する地域とされています。そこで、これまで実施してきた、

- 毎朝の検温とマスクの着用、うがい、手洗いの徹底
- 発熱等の風邪の症状があった場合は、登校しない。  
登校後発熱等の症状があった場合は、自宅療養や受診をお願いします。

などの感染防止措置は当然のこと、授業では次のような手立てを講じています。

### ＜授業における感染防止措置＞

- 教室は常に換気をし、児童席は1～2m程度間隔をとる。
- 授業では、近距離での会話がやむを得ないことからマスク着用を原則とする。ただし、体育授業では、密集場面とならぬよう配慮しながら、熱中症防止の観点からマスクを着用しないことができる。教師はマスク着用とする。
- 音楽・図工・家庭など密閉空間での近距離での発話など、感染リスクの高い活動は当面実施しない。
- 水泳学習は、不必要な会話はしない。プールサイドでは、児童どうしの間隔を空ける。用具の使い回しを避ける。更衣室での身体的距離を確保するため、校舎内を利用する。

また、田村市教育委員会では、教育活動（行事等も含む）の中で、感染リスクの高いものについては、当面の間実施を見送るとしました。今後、宿泊学習や修学旅行、校内行事などについても、感染状況や関係機関の判断等を鑑みながら、実施の可否、活動内容等の検討等を行っていきます。

## 感染拡大防止のために



給食は、席を離し、前を向いて食べます。



学習の際も、席を離してマスク着用です。

都路小HP R2.5.28現在  
訪問者 168688人  
アドレス



※都路っ子の活動をほぼ毎日更新中！

# 児童の学力維持 伸長のために

3月の臨時休業、さらに4月18日からの緊急事態宣言を受けた臨時休業と児童の学習機会が失われています。今後、授業時数の補填を何らかの方法で行う必要がありますが、休業期間中も担任と子どもたちは自宅学習に工夫を凝らして取り組んできました。

## ○ 家庭でも主体的に学ぶことができるような課題の工夫

各担任は、長期に渡る自宅学習において規則正しい生活を維持できるように生活の時間割を作成し、子どもたちと連絡を取り合ってきました。

子どもたちへの課題は、ドリルや復習だけではありません。

「体育：自宅でなわとびをしましょう！」

「算数：NHKEテレの番組を同じ時間に見ましょう」

「理科：お家の周りの生き物を見つけてノートに描きましょう」

などと、授業と連動するように工夫を凝らしました。

その一例として5年生の自主学習をご紹介します。

「布マスクを製作しました」 →

「ぐりとぐらのカステラ作りました！」

お母さんの協力を得て、日頃できないお料理や小物づくりをがんばったそうです。作品の仕上げ、ノートにまとめる方法も良くできています。

「定着確認シート」 →

県教委が公開した定着確認シートをダウンロードして、ノートにチャレンジしました。

このシートは、担任が授業や家庭学習に使うものですので、復習だけでなく予習にも有効です。

他にも、理科の「光電池」について調べてきた児童は、「なぜそうなるか」まで自分の考えをしっかりと書いていました。

## ○ ロイロノートによる遠隔授業

このような課題以外に、学校のタブレットPCを児童が持ち帰り、担任との遠隔授業を行いました。動画は送受信できませんが、担任からの課題を受け取ったり、ノートの画像を担任に送信したりすることで、指導や添削をしてもらうことができます。

自宅ではなく、放課後児童クラブに来た子は、集中してできるように、学校に来て、同じように学習しています。

